■二十三期生

松本真由美

趣味　読書　絵画鑑賞　美術館巡り　ドライブ

特技　ピアノ（幼少期より12年）　水彩画

好きな言葉　「継続は力なり」

自己PR

大学では油絵サークルに所属し、週末はアトリエにこもって制作に没頭する日々を送りました。キャンバスに向かう時間は、自分と静かに対話できる貴重なひとときです。

志望動機

貴社の「一人ひとりの感性を大切にする」という企業理念に強く惹かれました。私自身、絵を描く際に最も大切にしていることは、見る人それぞれの解釈を尊重することです。

学生時代に力を入れたこと

油絵サークルの副部長として、展示会の企画運営を担当しました。予算管理、会場手配、広報活動まで幅広く経験し、チームで一つのものを作り上げる喜びを学びました。

長所

粘り強く取り組めるところです。

短所

完璧を求めすぎて時間がかかってしまうところです。

趣味　読書　絵画鑑賞　美術館巡り　ドライブ

特技　ピアノ（幼少期より12年）　水彩画

好きな言葉　「継続は力なり」

自己PR

大学では油絵サークルに所属し、週末はアトリエにこもって制作に没頭する日々を送りました。キャンバスに向かう時間は、自分と静かに対話できる貴重なひとときです。

志望動機

貴社の「一人ひとりの感性を大切にする」という企業理念に強く惹かれました。私自身、絵を描く際に最も大切にしていることは、見る人それぞれの解釈を尊重することです。

学生時代に力を入れたこと

油絵サークルの副部長として、展示会の企画運営を担当しました。予算管理、会場手配、広報活動まで幅広く経験し、チームで一つのものを作り上げる喜びを学びました。

長所

粘り強く取り組めるところです。

短所

完璧を求めすぎて時間がかかってしまうところです。

■二十四期生

自己PR

大学では油絵サークルに所属し、週末はアトリエにこもって制作に没頭する日々を送りました。キャンバスに向かう時間は、自分と静かに対話できる貴重なひとときです。

志望動機

貴社の「一人ひとりの感性を大切にする」という企業理念に強く惹かれました。私自身、絵を描く際に最も大切にしていることは、見る人それぞれの解釈を尊重することです。

学生時代に力を入れたこと

油絵サークルの副部長として、展示会の企画運営を担当しました。予算管理、会場手配、広報活動まで幅広く経験し、チームで一つのものを作り上げる喜びを学びました。

長所

粘り強く取り組めるところです。

短所

完璧を求めすぎて時間がかかってしまうところです。

■二十五期生

自己PR

大学では油絵サークルに所属し、週末はアトリエにこもって制作に没頭する日々を送りました。キャンバスに向かう時間は、自分と静かに対話できる貴重なひとときです。

志望動機

貴社の「一人ひとりの感性を大切にする」という企業理念に強く惹かれました。私自身、絵を描く際に最も大切にしていることは、見る人それぞれの解釈を尊重することです。

学生時代に力を入れたこと

油絵サークルの副部長として、展示会の企画運営を担当しました。予算管理、会場手配、広報活動まで幅広く経験し、チームで一つのものを作り上げる喜びを学びました。

長所

粘り強く取り組めるところです。

短所

完璧を求めすぎて時間がかかってしまうところです。

■二十六期生

自己PR

大学では油絵サークルに所属し、週末はアトリエにこもって制作に没頭する日々を送りました。キャンバスに向かう時間は、自分と静かに対話できる貴重なひとときです。

志望動機

貴社の「一人ひとりの感性を大切にする」という企業理念に強く惹かれました。私自身、絵を描く際に最も大切にしていることは、見る人それぞれの解釈を尊重することです。

学生時代に力を入れたこと

油絵サークルの副部長として、展示会の企画運営を担当しました。予算管理、会場手配、広報活動まで幅広く経験し、チームで一つのものを作り上げる喜びを学びました。

長所

粘り強く取り組めるところです。

短所

完璧を求めすぎて時間がかかってしまうところです。

■二十七期生

自己PR

大学では油絵サークルに所属し、週末はアトリエにこもって制作に没頭する日々を送りました。キャンバスに向かう時間は、自分と静かに対話できる貴重なひとときです。

志望動機

貴社の「一人ひとりの感性を大切にする」という企業理念に強く惹かれました。私自身、絵を描く際に最も大切にしていることは、見る人それぞれの解釈を尊重することです。

学生時代に力を入れたこと

油絵サークルの副部長として、展示会の企画運営を担当しました。予算管理、会場手配、広報活動まで幅広く経験し、チームで一つのものを作り上げる喜びを学びました。

長所

粘り強く取り組めるところです。

短所

完璧を求めすぎて時間がかかってしまうところです。